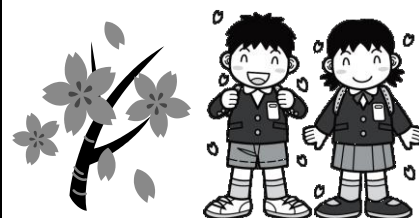


学校と家庭をむすぶ

練馬区立石神井台小学校

石神井台より

〒177-0045 練馬区石神井台8-6-33 TEL3928-7124



平成26年4月7日 No.445

平成26年度の出発にあたって

校長 渡邊 浩一

春風の心地よい季節になり、石神井台小学校にも春の息吹が強く感じられるようになりました。

お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。本年度は、96名の新1年生を迎え、全校児童621名、19学級で始まりました。

漫画家の手塚治虫さんの作品は、多くの方々に読まれていることと思います。日本初の30分連続テレビアニメ「鉄腕アトム」は手塚治虫さんが、この練馬の地で制作しました。「ジャングル大帝」「ブラックジャック」等、数多くの作品は手塚さんが亡くなって20年以上が経つ今でも、多くのファンがいます。人間の様々な感情を描き、人としての生き方を示す、数々の作品に多くの読者が心を打たれ、感動を覚えています。このような素晴らしい作品を、次々に生み出した手塚さんは著書の中で「ただ1つでも人に、自慢できるものをもっていることが本当に幸せなのです」と語っています。プロの漫画家になってからも、自分が納得できるまで徹底的に描き直し、時間をかけて完璧なものに仕上げたそうです。そうすることで、自分の作品への自信を深めていったのです。

これからの社会を担う子供たちに、自分のよさや得意なことに気づき、そのことに自信を持って取り組んでいけるように応援します。そして、自分の夢や目標を定め、その実現に向けて強い意思をもち、力強く歩むことで、自らの力を高めることができるように願っております。

本年度も、皆様のかけがえのない大切なお子様をお預かりし、全教職員で力を合わせて、本校の教育目標である「**心ゆたかで たくましい子を育てる**」ことを目指してまいります。

その実現に向けて、二学期制の趣旨である「学びの連続性」を活かし、児童一人一人に応じたきめ細かい指導を行います。また、皆様からいただきました平成25年度の学校評価をしっかりと受け止めて、教育内容を見直してきました。平成26年度は、さらなる教育活動の充実を図ります。特に、次のことに力を入れ、児童・保護者・地域から信頼される学校づくりを推進してまいります。

1 人権尊重の理念を正しく理解し、思いやりの心や共に生きる力をはぐくむ教育を推進します

本校の特色ある教育活動「つなごう 手と心」では、近隣の都立石神井特別支援学校や近隣の幼稚園、保育園との交流活動や高齢者福祉施設等、様々な体験活動を充実させ、思いやりの心や共に生きる力をはぐくむ教育を進め、共に生きる社会づくりの精神を培います。特に、いじめは重大な人権侵害であり、その根絶に向けさらなる指導の徹底に努めます。

2 学びの基礎を徹底し、わかる喜びや達成感を感じられる学習を進め、学ぶ意欲の向上に努めます

三年間、校内研究で取り組んできました「話すこと・聞くこと」などの「言葉の力」を、さらに高めて、思考力・判断力・表現力等を育みます。本年度は、算数科の研究を通じて、学びの基礎を徹底し、どの子どもも楽しく、「わかる・できる」授業改善にも努めます。

3 一人一人の児童が、安心して楽しい学校生活を過ごせるように努めます

本年度も児童が安心して学校生活を過ごせるように、児童理解を深め、諸問題に対しては早期に発見し、早期に解決できるように心がけます。心のふれあい相談員・スクールカウンセラーの配置は、本年度も継続し、さらに教育相談体制を充実させ、保護者と学級・学年・学校との連携をさらに深めます。また、本年度も学校公開の日は、人との関わりの基本である「あいさつ運動」を代表委員の児童と保護者や地域の皆様と一緒に推進します。また、「緊急時に対応できる登下校班の編成」の計画・準備を進め、平成27年度から実施できるように進めます。

平成26年度 教育活動を進めるにあたり、具体的な方策は「保護者会」でご説明します。

本年度も保護者の皆様、地域の皆様方とパートナーシップを確立し、連携を密にしながら、教育活動に取り組んでまいります。昨年度にもまして、保護者・地域の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。